

理事長…浅川 勤 理事6名 評議員7名 監事2名 法人事務局長 田中 彰

◆重点目標 ①「障がいのある方々が地域で自分らしく安心して暮らし、安心して働ける、温かい地域作りをしていきます。」という理念のもと、利用者、家族、社会のニーズに柔軟に応じていく。同時に、職員一人ひとりが働き甲斐をもって働き、能力を伸ばしていける職場を目指す。全てにおいて、「とにかくやってみる」精神を大切に行動していく。

②法人経営では新体制に移行していくにあたり、ゆいのもりのチャレンジ精神を次世代に伝えていく。

項 目	内 容
中期計画	第3次中期計画 2024～2026 2年目
サービス 向上	1. グループ活動、レクリエーション活動の充実（メンバー自治会、スポーツ、広報、食事作り等） 2. 就労系事業の充実（食工房パン事業の品質維持のための職員体制づくり、つつじが丘のリネン作業の効率化と安定化および他作業の取捨選択、作業場の移転を含めた検討、工賃アップ、就職専任者を配置して継続B型での積極的就職支援） 3. グループホーム移転及び増設および春風建物土地の購入準備 4. 作業活動の安全管理（食品の安全衛生、清掃・除草作業の安全管理の徹底）
安定経営	1. ゆいのもりわかば2年目。活動の定着（田中） 2. つつじが丘あいぽく清掃休止への対応（日向） 3. 会計と給与計算 安藤税理士事務所との連携に習熟する。 4. 資金作り 事業展開のための積立の継続 5. 危機対応 虐待防止、業務継続計画と感染症対策の定期的研修と訓練（日向・田中・浅川）
人財育成・教育	1. 職場環境懇談会 懇談会継続と前年度提案されたことに取り組む 2. 待遇改善 ①7.5時間労働を目指し、実現のための方策を考える（法人事務局会） ②事務業務のデータ化を進める 3. 教育 ①法人主催研修 虐待防止と感染症 ②研修委員会主催研修（半田） ③合職の活性化 ミニ協議（自由なテーマ。毎回一人ずつ15分以内で話す） 4. 職員体制づくり 適材適所に配置。3～7年での異動。評価を軸にやりがいのある職場をつくる。評価軸－支援力・事務力、チームを生かす力とリーダー力、業務遂行できる体力と知力と取組態度、経営的視点、世界全体に及ぶ視野、思いやり、実績（法人事務局会）
その他	1. カーボンニュートラルを目指し「地球温暖化を防ぐ行動基準」を法人活動に反映する。 ・車両 目的に応じて電気自動車を選択する。 ・電気器具 省エネ製品を第一選択にする。 ・省エネ行動 無人時の電気使用・必要以上のお湯使用を減らす。太陽光発電設備の設置検討（食工房とグループホーム） ・電気納入元 再生可能エネルギーによる電力を選択する。 ・紙使用を減らす。 2. 情報公開 当法人のイメージアップと課題を自覚するために、ホームページにて次の情報を公開する。働き方データ（平均時間外労働、勤続年数、有給休暇取得状況、育休取得状況、出産数、役員・職員の女性比率） 3. 活動報告会 活動中の姿を見学する形式で実施 4. 美化 施設内の整理整頓と清掃を心がける。（全職員）

◆法人本部業務

1. 理事会・評議員会業務

・理事会 6月事業報告・決算（・次期役員案、理事長選定） 12月上旬期収支点検 3月事業計画・予算

・評議員会 6月決算・事業報告と事業計画・予算（・次期役員選任）

2. 法人全体事務のとりまとめ 社会保険事務(社保・労働保、36 協定、産休育休)、保険(賠償責任・傷害・車両)のとりまとめ、会計/積立と共通経費、給与振込、納税、退職共済手続き、労働者名簿管理
3. 理念、中期計画、中長期修繕計画と積立計画、規程類の見直しと管理、福祉を取り巻く情報収集
4. 職員交流、人材育成、教育、職員採用事務
5. 指導検査と福祉サービス第三者評価による事業点検
6. 関係団体への参加 ①昭島市障害者（児）福祉ネットワークと精神部会 ②昭島市自立支援推進協議会および地域支援協議会部会 ③じゅさんれん・東社協精神保健福祉連絡会 ④セルフ
7. 情報発信（活動報告会・法人通信発行・事業所単位での通信発行とInstagram・ホームページ更新）
8. 賛助会事務 グループホームと共同で行う
9. 虐待防止の取組 研修、虐待防止委員会開催、全職員対象のアンケート調査実施、苦情解決制度
10. 経営状況管理（収益の状況、将来のための積立継続、借金が多すぎないか、職員数は適正か）
11. IT 環境の保守管理、IT 機器・アプリの導入
12. 財務諸表等電子開示システム入力、社会福祉充実計画作成、WAM 情報公開システム更新

●参考資料 職員のメンタルヘルスを良好に保つために、職場環境と待遇を考える視点

「ケアする人が元気でなくてはいけない」

〔環境編〕 1. 無駄に使えるお金があること 2. やらされる状況ではなく、自分で計画し選択できる権利があること、人を動かして協働できる権利を持っていること 3. していることが価値あるものと思われていること、大事にされていること 4. 社会的つながりがあること（仲間がいること、先輩後輩がいて伝統の中にいる感覚）

〔個人編〕 5. 知識によって問題がわかる。知識は人を孤独から救う。 6. 愚痴れる、相談できる人・上司がいる。

7. 一人になれる時間がある。ケアから離れていられる。代わってもらえる。 8. みんなで心配しみんなで見守ること 9. 聞くためには聞いてもらう必要がある。

※東畑開人 「こころのケア入門」より浅川が一部改訂

●参考資料 2025 年 5 月 6 日 日経新聞 14 面 Analysis 人口構造変化に遅れた対応 柴田悠 京都大学教授

・高い生産性→労働時間は 8 時間以内、睡眠は 7 時間以上

・労働者から選ばれる企業、やりがいを感じる企業→仕事と生活の両立、定時退社、休み取得（フレックスタイム・時間単位有給・祝日夏期休暇年末年始の代わりに選んで休めるフレックス休暇）